

若狭ネット

84号 2004年 4月18日

発行：若狭連帯行動ネットワーク

代表連絡先 福井：「止めなくちゃ！

げんぱつ」連絡会(〒915-0235今立郡今立町不老6-36 山崎方 TEL0778-42-3630) 大阪：日高原
発に反対する大阪の会(〒583-0005藤井寺市惣社1-1-21 久保きよ子方 TEL/FAX 0729-39-5660)
ホームページ <http://www4.ocn.ne.jp/~wakasant/> E-mail: wakasa@gaea.ocn.ne.jp

**高くつく原発を 国の優遇策や大幅な援助で
しのごうとするなんて許せません**

**原発推進政策を転換させましょう
政府と電力会社に「申し入れ」を集中させましょう**

チェルノブイリ原発事故から18年 関西電力への申し入れ行動

4月26日(月)
午後6時から
関西電力本社
午後6時集合



『新聞折り込みカンパのお願い』

福井で「講談を聞く夕べへのお願い」の案内を新聞折り込みします。

最低でも5万円が必要です。ぜひとも カンパをお願いします。

郵便振込口座 00940-2-100687 若狭ネット

新聞折込基金 1口5百円 _____ 口 _____ 円

「講談を聞く夕べへのお願い」 4月23日(金) 夜7時より 鯖江市文化の館

講談師 神田香織「チェルノブイリの祈り」

電事連は「原発は他の電源と比べてそんなない」といいながら「実際には高い」と報告

日本の電力会社で構成されている電気事業連合会の発電単価試算報告では、とうとう原発は他の電源と比べて安いとはいわずに、私たちに、他の電源とそんなない」と言っています。しかし、国に対しては、「実際には原発は高くつくため、原発優遇策が必要だ。」と訴えています。

どうして電力会社はこのような言い方をするのでしょうか。

それは、2005年度から本格実施される電力自由化の中では、新たな原発を建設すれば電力会社自体が生き残れない（経営危機に陥る）との判断を示して、国に対し、「もっと原発を優遇しろ！」と訴えているのです。

たしかに、巻原発や珠洲原発の計画を撤回したことや、敦賀3・4号炉増設などを相次ぎ延期したのは、その判断のあらわれです。

しかも、運転中の原発においても、原発を優先的に運転するルールづくりなどが、総合資源エネルギー調査会電気事業分科会で検討されています。また、今までに海外に再処理を委託した返還費廃棄物の輸送・貯蔵・処分などにかかる費用、約3兆円は、これから国民に「広く薄く回収すべき」と私たちに押しつけようとしています。さらに、六ヶ所の再処理工場を本格的に運転開始すれば、電力会社の負担は増すばかりであり、電力会社は、国が面倒を見るように強く求めているのです。また、使用済核燃料や廃棄物の扱いについて政府の役割分担を求めています。

原子力の長計見直し、長期エネルギー需給見通し、電力自由化の優遇策が焦点となる。

このような中で10回目の原子力長期計画見直しが焦点化しています。

今までの核燃料サイクル政策では、原発から

生み出されるプルトニウムは、高速増殖炉開発、新型転換炉開発、つなぎとしてのプルサーマル計画で利用されると大宣伝していました。しかし、1995年高速増殖炉「もんじゅ」のナトリウム漏洩火災事故後、高速増殖炉実証炉開発計画は撤回され、実用化は「究極の目標」とされました。新型転換炉「ふげん」は、閉鎖されました。プルトニウム利用の唯一の手段となったプルサーマルは、1999年にBNFLのデータ改ざん事件、JCO事故、2000年の東電のひび割れ隠し事件後、全面的に中止されていました。関電は今年3月にMOX燃料加工の基本契約を結びましたが、東電では全くめどが立っていません。

こんな中、原子力長期計画の見直しのため、「ご意見を聞く会」がすでに2ヶ月間で10回も開かれています。

長期計画の見直しでは、高速増殖炉開発について、今ある「もんじゅ」をどうするのか、海外再処理によるプルサーマル、六ヶ所再処理によるプルサーマルをすすめるのか、使用済核燃料中間貯蔵施設をどのように明確に位置づけるのかが、直接電力会社の経営危機に直結するため、国に大幅な優遇策を求めて大問題となっているのです。

経産省は総合資源エネルギー調査会・電気事業分科会で、原発優遇策を検討しています。また、総合資源エネルギー調査会・需給部会で、2030年までの長期エネルギー需給見通しを策定中です。原子力委員会では、原子力の長期計画「いわゆる長計の見直し」を議論しています。

若狭ネットは、国民に負担を強いる国の優遇策や、ますます原発の危険性を増大させる原発推進策動に対して4月14日に「申し入れ」を提出しました。（申し入れ内容は次ページ掲載）

六ヶ所再処理工場のウラン試験、プルサーマル計画、そして、もんじゅのゆくえが大きな問題点として浮かび上がっています。ぜひとも、私たちの申し入れを参考にして頂き、危険な原発・核燃料サイクルの動きに対して、全国から声を集

申し、申し入れをしましょう。

< 申し入れ先 >

経済産業大臣 中川 昭一 様 および
資源エネルギー庁長官 日下 一正 様
〒100-8901 東京都千代田区霞が関1-3-1
電話 :03-3501-1511

原子力委員会委員長 近藤 駿介 様
〒100-8970 東京都千代田区霞が関3-1-1
中央合同庁舎第4号館
電話 :03-3581-6690

文部科学大臣 河村 建夫 様
〒100-8959 東京都千代田区丸の内2-5-1
電話 :03-5253-4111

関電交渉をします！！

4月26日のチェルノブイリ18年の機に

関電は、またまたプルサーマル計画をすすめようとしています。

3月20日、福井県知事は、関電の藤社長に対して、海外でのMOX燃料加工委託を了承すると正式に伝えました。

これを受けて、関電は、2007年頃、高浜原発に燃料を装荷したいと改めて表明しました。

3月31日に関電は、コジエマ社と正式の基本契約を結びました。しかし、関電の品質保証体制は、きわめて不完全であり、このままMOX燃料加工契約を行い、プルサーマルをおこなうのは、きわめて危険です。

国の原子力安全・保安院も海外MOX燃料の輸入について「品質保証活動が確実に定着するよう、継続的な取り組みが必要」などと関電に注文をつけていることでも明らかです。

関電に送りつけた質問に対して、3月26日に関電交渉を行いました。

「品質保証活動を支える人と組織が充分確立していないまま、すすめるのは無謀であること。」の私たちの質問には、「これまでも組織的にいろいろやってきて、一応確認できている。ただし、それを支える人の力量が特に重要であるため、品質保証教育を充実し、一層品質保証活動の充実強化をして、MOX燃料の調達を確実にすすめていきたいと考え

ている。」と答え、力量充実は今後の課題であることを暗に認めました。

これで、もう1999年に起こったBNFLのデータねつ造を見破れる力をつけたといのでしょうか。5年前に、私たちがデータの改ざんがあると指摘したのに、関電自身は見破れなかったのです。

これからは、きちんと見破れるといのでしょうか。「本当にきちんと見破れますか？」の質問に対しては、「そのように努力しています。」との返事でした。

原子力開発から50年も経った今でも、品質管理がいまだに確立できないでいる会社経営方針で、私たちには、「安全の上にも安全に」と、宣伝していたのです。このことに対してすら、関電は私たちにきちんと説明しようとはしないのです。

六ヶ所の再処理工場でも、品質マネジメントシステムがずさんで、いろいろな不備が指摘されています。この再処理工場に、多くの関西電力の役員や社員が日本原燃の役員や社員として出向していることを最近知りました。六ヶ所再処理工場でいろいろな品質欠陥が明らかになっていることに対しても、出向を送り込んでいる関電にも責任があるのではないかと、問いただしてきました。

原子力施設の「安全」管理体制は、非常に危うい状況を呈してきています。原子力関連に携わる人たちの力量不足や組織的な管理体制の不備などが際だってきています。

4月26日は、チェルノブイリ原発重大事故が起こってから18年に当たります。

18年経っても多くの住民は、ヒバクシ、健康、生活に苦しめられています。

これらを繰り返させないためにも、この日に関電交渉を設けました。

みなさんと共に、チェルノブイリ18年の4月26日に関電本社へ出向き、共に追及していきましょう。

電力供給計画に顕在化した原発新增設計画の停滞と破綻

電力供給計画における原子力開発計画(2004年度供給計画 2004.3末)

| 設置者 | 発電所名 | 炉型 | 万kW | 運開予定 | 用地確保 | 備考 |
|------|-------|------|--------|--------------------------|------|-------------------------------------|
| 北海道 | 泊3 | PWR | 91.2 | 09.12* | 済み | 00.11許可申請、03.11着工 |
| 東北 | 東通1 | BWR | 110.0 | 05.7 | 実質済み | 98.12.24着工、東電が開発参加 |
| | 東通2 | ABWR | 138.5 | 15年以降 | 実質済み | 10年度着工予定へ6回目の延期 |
| | 巻1 | BWR | 82.5 | ** | 未 | 03.12.24建設断念 |
| | 浪江小高1 | BWR | 82.5 | 12年度 15年** | 未 | 29回目の延期 |
| 東京 | 東通1 | ABWR | 138.5 | 12年度** | 済み | 6回目の延期、着工06年度予定 |
| | 東通2 | ABWR | 138.5 | 14年以降** | 済み | 6回目の延期、着工08年度以降 |
| | 福島第一7 | ABWR | 138.0 | 10.10** | 済み | 8回目の延期 |
| | 福島第一8 | ABWR | 138.0 | 11.10** | 済み | 8回目の延期 |
| 中部 | 浜岡5 | ABWR | 138.0 | 05.1 | 済み | 99.3着工、04.3.23臨界 |
| 北陸 | 志賀2 | ABWR | 135.8 | 06.3 | 済み | 99.8.27着工、電力融通計画変更 |
| 日本原電 | 敦賀3 | APWR | 153.8 | 14.3** | 済み | 02.2.22第1次ヒアリング |
| | 敦賀4 | APWR | 153.8 | 15.3** | 済み | 着工07.5予定 |
| 電源開発 | 大間 | ABWR | 138.3 | 12.3 | 2%未買 | 04.3.18 設置許可申請再提出 未買収地取得難で炉心位置変更 |
| 関西等 | 珠洲1 | 未定 | 135.0 | 14年度 | 未 | 03.12.5事実上の計画撤回 |
| | 珠洲2 | 未定 | 135.0 | 14年度 | 未 | |
| 中国 | 島根3 | ABWR | 137.3 | 11.3** | ほぼ済み | 00.10設置許可申請、着工05.3予定 |
| | 上関1 | ABWR | 137.3 | 13.3** | 未 | 5回目の延期、着工08年度予定 |
| | 上関2 | ABWR | 137.3 | 16.4** | 未 | 5回目の延期、着工11年度予定 |
| 合計 | | 19基 | 2459.3 | 巻1、珠洲1・2を除くと16基2106.8万kW | | |

注* 2003年度供給計画で運転開始が1年延期された。

注** 2004年度供給計画で運転開始時期が軒並み延期された。

運転開始 3年延期 :東通 2(東北)、東通 2(東京)

2~3年延期 敦賀3・4 (関西5 中部4 北陸1の受電予定だが、関電と北陸は受電計画を明示せず)

1年延期 :浪江小高1、東通 1(東京)、福島第一7・8号、島根3、上関1・2

注 :2004.4.1現在、軽水炉52基4574.2万kW(BWR29、PWR23)、高速増殖炉もんじゅ28.0万kWの計53基4602.2万kW(東海ガス炉、新型転換炉ふげんは廃炉)。2010年度末までに運転開始予定は4基、未着工の福島第一7号と島根3号を入れても6基、政府目標の「2010年までに原発9~11基建設」が破綻。

注 北陸電力は志賀2の運開予定時点で管内消化できない余剰分60万kWの関電・中部電への融通協定を結んでいたが、2005.4の電力自由化対象範囲拡大で電力需要が当初より減ることが予想されるため、運転開始から5年間は融通量を90万kWへ増やすことで両社と合意している(2003.3.31)。

4月25日(日) 午後1時半から チェルノブイリ原発事故18周年の集い

「救援関西」発足13周年、さらに前進を!

場所 大阪市立総合生涯学習センター (梅田第2ビル5階)

連絡 チェルノブイリ・ヒバクシャ救援関西



4月26日(月) 午後6時から

関電交渉 プルトニウム計画の質問に答える!

場所 関西電力本社 (地下鉄四つ橋線 肥後橋 駅下車、徒歩7分)

ヒバク反対キャンペーン ふりつさんより

自衛隊を撤退させ、拘束されている邦人3人の安全を確保するよう求める署名

私宛に届いた署名(街頭署名もあわせて)は、計72筆でした。

とりあえず、首相宛に送ろうかと思いますが...

まだお手元に残っている分があればについて、早急に、私宛に送って頂けますか。

3人が解放されても、イラクでの状況は未だ変わらず、政府も「早期に自衛隊の撤退をしないと明言したのは正しかった」などと強弁しています。宝塚で街頭署名をして下さった中川さんからは「宝塚では、この機を無にしないために、来週の火曜日に文章を変えて、平和的

話し合いによる停戦の項目を入れて街頭署名をしようと話し合っています。」とのご連絡も頂きました。



編集後記

- エネルギー受給見通しから、人口は、2年後にピークに達し、2030年度には1億2千万人(1980年頃の水準)に低下するそうです。労働力人口は、着実に減少しているし、エネルギー需要の伸びは2022年度をピークに減少するというのだそうです。。原油価格も2030年までに、極端な受給ひっ迫は想定できないそうです。いよいよ危険な原発から脱却すべき時期にきているようですね。

小泉さん、今までのエネルギー政策の間違いを反省し、脱原発に向かうときがきているようですよ

きよ子